

# SOBAX®



## ICC-300/ICC-330/ICC-350

### ポータブル電子計算機

取扱説明書

お買い上げいただきましたICC-300/ICC-330/ICC-350は、オフィス用電卓として考えられる、ほとんど全ての機能を網羅した、高性能なポータブル電子計算機です。

一般事務用に、技術計算用に、この説明書をお読みのうえご愛用ください。

ソバックス  
**SOBAX**とは

SOBAXは SOLID STATE ABACUS を語源として作られたソニー電子式卓上計算機の商標です。

## 電源について

この計算機は日本国内用に作られておりますので、電源電圧の異なる外国ではお使いになれません。

## 小型，高性能，高信頼性

計算機の入口であるキー部には、高級電動タイプライターのフィーリングを採り入れた新開発のキースイッチを採用。

心臓部とも言える演算素子には、最新技術を駆使した MOS LSI を、また表示部には見やすさをさらに追求した新開発の“ニュー・プラニトロン”を採用して小型・高性能化。信頼性も一段と高まりました。

## 理想的な小数点方式

わずらわしい小数点セットの問題は本機が解決しました。16桁3レジスターの十分な機能と合わせて、ほとんどすべての計算が気楽に、しかも高精度に行なえます。

○小数点位置は、計算の内容をすばやくキャッチして自動的に最適位置にセットする上位桁優先と下位桁保護はもちろん、オーバーフローした数字を有効置数として計算に使うこともできます。

○FIX モードの時、置数は常に指定位置を中心に行なわれるので、従来の浮動指定小数点方式に比べて数字の飛び歩きがなく、たいへん見やすくなっております。

○小数点の位置指定は全桁自由にでき、完全なフローティング・モードにも指定でき、小数点指定の途中変更も任意に行なうことができます。

## 計算式どおりの操作，不要なゼロの消去，自動クリヤー方式

ソバックス・シリーズに一貫する計算式どおりの計算方式，不要なゼロの消去，自動クリヤー方式…すべて従来のソバックスどおりですから、誰にでも分かりやすく易しく操作できます。

## 見やすい“ニュー・プラニトロン”

好評のプラニトロン管が生まれ変わりました。より自然な字形を追求したニュータイプの16桁表示は、外部の反射光をほとんどシャットアウトする最適角度にセットされ、3桁毎の自動位取り表示をとりいれて、困難な小型化を実現しました。

## 豊富な演算機能

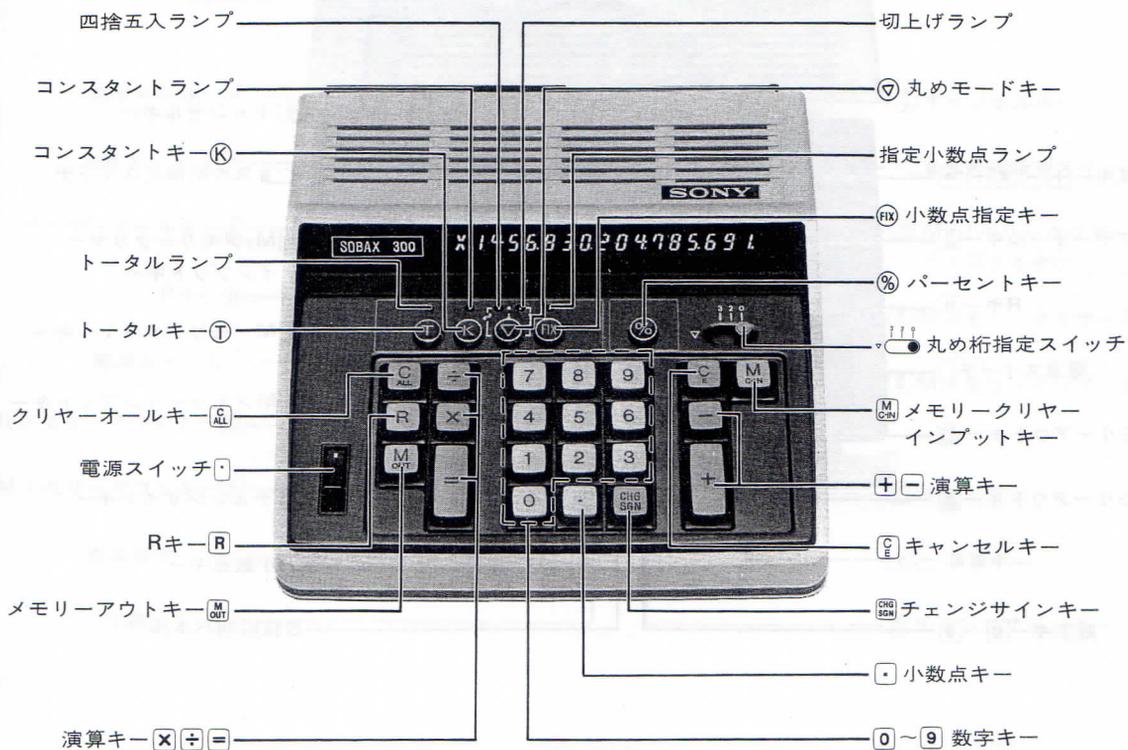
四則演算をはじめ、連乗除、四則混合計算、定数計算、四捨五入、切上げ・切捨て、積・商和差（以上は全機種）、割増・割引・割合などの計算（ICC-300, ICC-330）、のほか、各種値入計算、数量和と平均単価計算やサム・オペランド、アイテム・カウンターにより種々の計算が可能となりました（ICC-330）。

また、開平計算がワンタッチでできるほか、インプットデータの累計とその平方和が同時に求められる $\Sigma$ キーにより、統計計算、技術計算は格段に便利になりました（ICC-350）。

## 高級タイプライターのフィーリングをもつキースイッチ

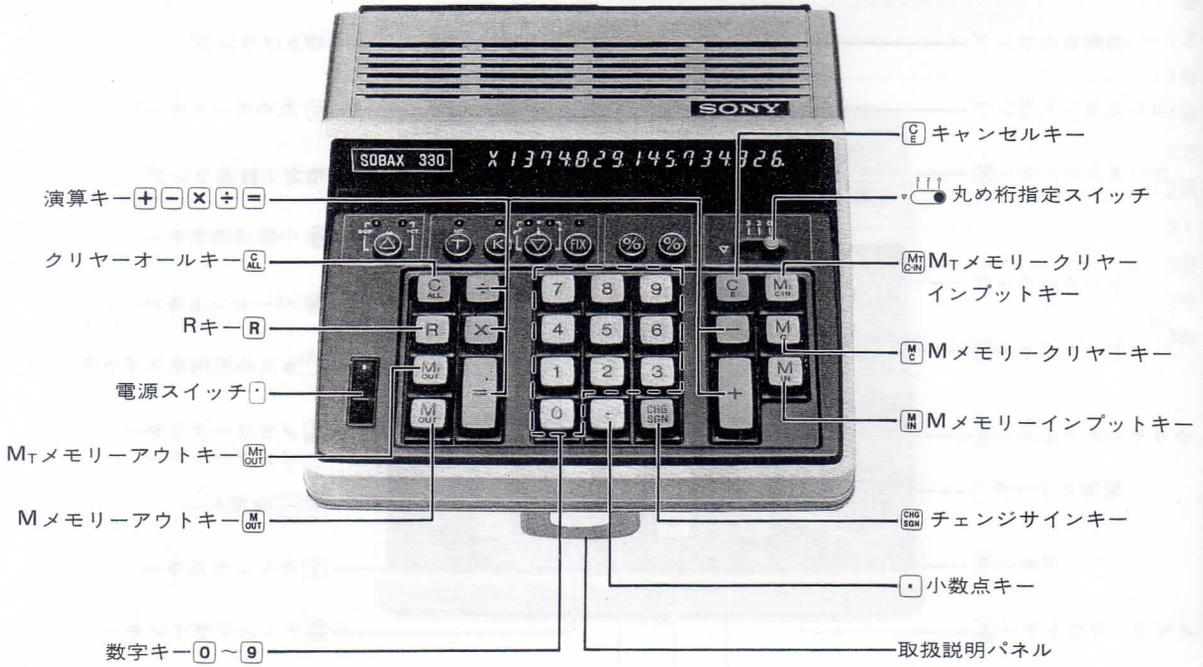
使用頻度の高い高級電動タイプの素晴らしいキータッチをそのまま再現した、導電プラスチック接点の新開発キースイッチ。高信頼性を背景にこころよい使用感が味わえます。

ICC-300

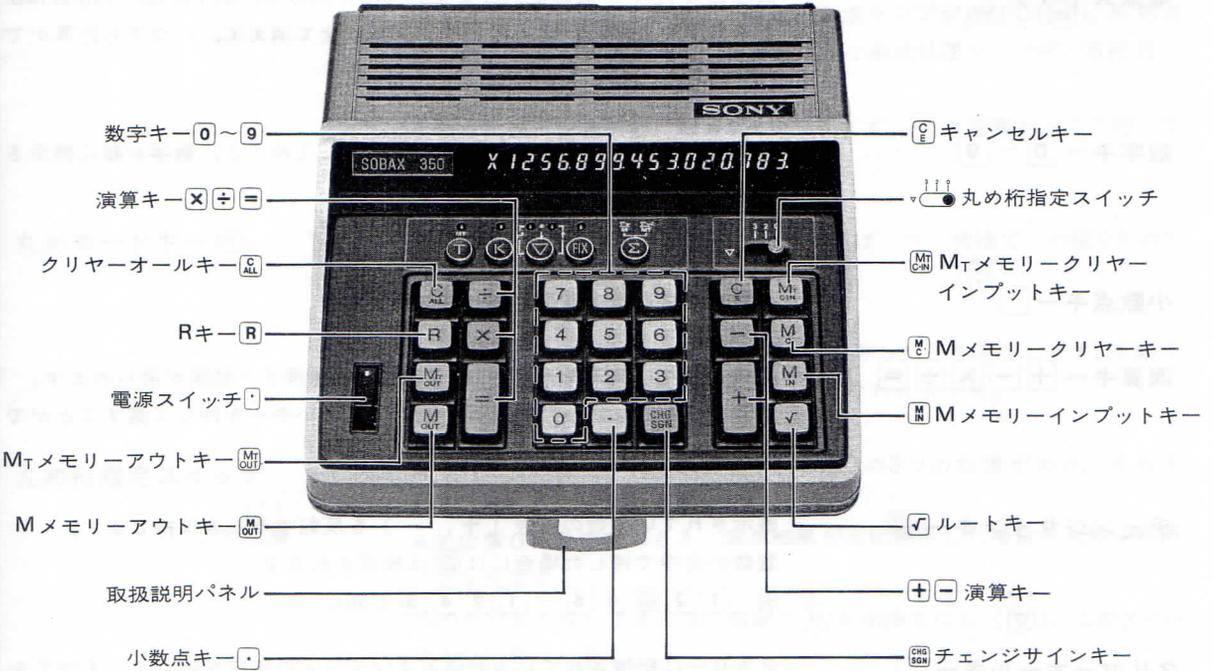


# ICC-330

008-031



# ICC-350



## 各部の使いかた

### 電源スイッチ

白点側を押すと電源が入ります。全桁が点灯し、約1秒後、1桁目に0と小数点を表示し、他の桁とランプ類は全て消えて、いつでも計算ができる状態になります。

### 数字キー ~

任意のキーを、数字の上位桁から順に押してゆくと、数字が順に表示されます（これを置数といいます）。

のあとに押すと小数点の指定になります。

### 小数点キー

小数点を含む数を置数するときに押します。

### 演算キー

数式どおりに演算キーを押し、最後に  を押すと結果が得られます。演算キーを押し誤ったときは、続けて正しいキーを押して直すことができます。

### チェンジサインキー

表示されている数の符号（ $+$ 、 $-$ ）を反転するときに押します。

置数の途中で押した場合には  は無視されます。

例      →     と同じ

### クリアオールキー

メモリーに記憶されている数値およびモードの指定を除いて、すべてをクリア（消去）します。

### キャンセルキー

次の3つの機能があります。

エラーキャンセル：エラー状態（ $\times$ ）をクリアします。

指定小数点モードのキャンセル：

指定小数点状態から   と続けて押すと、浮動小数点状態になります（モードの切替え）。

クリアエントリー：今表示されている数をクリアします。

### Rキー

リピートとリバースの2つの機能があります。

リピート：演算キー（    ）のすぐ後で  を押すと、演算キーが押される前に表示していた数呼び戻します。呼び戻された数は、置数と同様に全ての演算に使えます。

リバース：数字キー、 、（トータル結果の呼出し）、あるいはリピート機能として用いられている 、などの後で  を押すと、演算数と被演算数が入れ替ります。

### コンスタントキー

 を押すとコンスタントランプが点灯し（ とあわす）、加減乗除算・パーセント・拡張パーセントの定数計算が行なえます。 では 、、、の直前の演算数とその前の演算機能を記憶します。

 をもう一度押すとランプが消え（ とあわす）、定数計算は行ないません。

## 小数点指定キー (FIX)

小数点を指定するために使います。

例えば (FIX) [5] と続けて押すと、指定小数点ランプが点灯し (FIX)<sup>☆</sup>、5桁目に小数点位置が指定されて、演算結果は小数点位置がこの桁 (5桁目) になります。

小数点位置は任意の桁に選ぶことができます。(FIX)は演算中どこで押しても演算順序に影響を与えません。

## 丸めモードキー (▽)

(▽) を押すと、順次 四捨五入 → 切上げ → 切捨て の順で丸めモードが切替わります。

丸めは指定小数点状態で [≡], (白) (%), (赤) (%), [√] を押したとき実行します。浮動小数点状態では、丸めは意味がないので行なわれません。

## 丸め桁指定スイッチ



丸めの桁を指定するスイッチです。3.2.0の3つの位置があり、それぞれ3.2.0桁目に指定できます。

丸め位置0桁目指定のとき、演算結果が全桁表示した場合の丸めは切捨てとなります。

丸めを行なわないときには、前記の (▽) を切捨てにし (▽)<sup>●●</sup>、このスイッチを0桁目にします。

## ICC-300について

### メモリークリヤーインプット

キー [M C-IN]

表示されている数をメモリーに記憶します。ただしトータルランプ点灯時に [M C-IN] を押すとエラー状態 (X) となります。

なお、このキーは演算順序には影響を与えません。

### メモリーアウトキー [M OUT]

メモリーに記憶されている数を呼出すときに使います。

トータル計算中の途中読出しにも使います。

### トータルキー (T)

(T) を押すとトータルランプが点灯し (T)<sup>☆</sup>、メモリーがクリアされて [≡], (%), で得られた結果をメモリーに加算します。

(T) をもう一度押すとランプが消え (T)<sup>●</sup>、メモリーに累計 (トータル) された結果が表示されます。

### パーセントキー (%)

(%) は [+]、[-], [×], [÷], と組合せて、割増・割引・割合計算など4種類のパーセント計算を行なうことができます。

## ICC-330について

### M<sub>T</sub>メモリークリアーイン プットキー

表示されている数をM<sub>T</sub>メモリーに記憶します。

ただしトータルランプ点灯時に  を押すとエラー状態 (X) となります。なおこのキーは演算順序には影響を与えません。

### M<sub>T</sub>メモリーアウトキー

M<sub>T</sub>メモリーに記憶されている数を呼出すときに使います。

トータル計算中の途中読出しにも使います。

### Mメモリークリアーキー

Mメモリーに記憶されている数をクリアーするときに使います。

なお、このキーは演算中どこで押しても演算順序には影響を与えません。

### Mメモリーインプットキー

表示されている数をMメモリーに加算します。Mメモリーに残っていた前の数と、今Mメモリーに入った数の和が記憶されます。

なお、このキーは演算中どこで押しても演算順序には影響を与えません。

### Mメモリーアウトキー

Mメモリーに記憶されている数を呼出すときに使います。

このキーは演算中どこで押しても置数と同じ働きをします。

### トータルキー

 を押すとトータルランプが点灯し ()、M<sub>T</sub>メモリーがクリアーされて、、、、で得られた結果がM<sub>T</sub>メモリーに加算されます。

 をもう一度押すとランプが消え ()、M<sub>T</sub>メモリーに累計 (トータル) された結果が表示されます。

### パーセントキー

 は 、、、、と組合せて、割増・割引・割合計算など4種類のパーセント計算を行なうことができます。

### 拡張パーセントキー

 は 、、、、と組合せて、4種類の拡張パーセント計算を行なうことができます。

### Mメモリーモードキー

 を押すと、順次

サム・オペランド→アイテム・カウンター→ノーマル (モードなし)

の順でMメモリーのモードが切替わります。

サム・オペランド：被演算数を自動的にMメモリーに加算します。  
(SUM OPERAND)

アイテム・カウンター：、、を押した回数 (演算回数) を自動的に  
(ITEM COUNTER) にカウントします。

## ICC-350について

### M<sub>T</sub>メモリークリアーイン

プットキー 

表示されている数をM<sub>T</sub>メモリーに記憶します。

ただしトータルランプ点灯時にを押すとエラー状態 (X) となります。なおこのキーは演算順序には影響を与えません。

### M<sub>T</sub>メモリーアウトキー

M<sub>T</sub>メモリーに記憶されている数を呼出すときに使います。

トータル計算中の途中読出しにも使います。

### Mメモリークリアーキー

Mメモリーに記憶されている数をクリアーするときに使います。

なお、このキーは演算中どこで押しても演算順序には影響を与えません。

### Mメモリーインプットキー

表示されている数をMメモリーに加算します。Mメモリーに残っていた前の数と、今Mメモリーに入った数の和が記憶されます。

なお、このキーは演算中どこで押しても演算順序には影響を与えません。

### Mメモリーアウトキー

Mメモリーに記憶されている数を呼出すときに使います。

このキーは演算中どこで押しても置数と同じ働きをします。

### トータルキー

を押すとトータルランプが点灯し()、M<sub>T</sub>メモリーがクリアーされて、で得られた結果がM<sub>T</sub>メモリーに加算されます。

をもう一度押すとランプが消え()、M<sub>T</sub>メモリーに累計(トータル)された結果が表示されます。

### ルートキー

を押すと、表示されている数の開平ができます。

### シグマキー

キーを押すとそれまで表示されていた数の二乗された結果が表示されます。同時に、表示されていた数をMメモリーに、二乗された結果をM<sub>T</sub>メモリーに、それぞれ加算します。

## 主な規格

電源	AC 100V, 50/60Hz
消費電力	7.5W
大きさ	204(幅)×70(高さ)×213(奥行)mm
重さ	約1.6kg
使用温度	0°C~40°C
表示	“ニュープラニトロン”による平面表示 数値16桁およびエラー表示, 上位の0消去および浮動 マイナス表示, 3桁毎自動位取り表示付き ランプ ICC-300, ICC-350 トータル, コンスタント, 四捨五入, 切上げ, 指 定小数点 ICC-330 トータル, コンスタント, 四捨五入, 切上げ, 指 定小数点, サム・オペランド, アイテム・カウン ター
置数	16桁, ロールオーバー(連続打ち)可能,  による負 置数可能
丸め	切上げ, 四捨五入, 切捨て, (0, 2, 3桁で可能)
小数点	浮動小数点方式および指定小数点方式(0~15桁)
レジスター	ICC-300 演算用3本, メモリー用1本 ICC-330, ICC-350 演算用3本, メモリー用2本
演算素子	MOS LSI, ハイブリッドIC, トランジスタ, ダイオ ード
演算機能	ICC-300 四則演算, 連乗除, 累乗・逆数計算, 定数計算, 四 捨五入, 切上げ, 切捨て, 積和差, 商和差, %計算 (割増・割引も可能)など ICC-330 ICC-300の機能のほか, サム・オペランド, アイ テム・カウンター, 拡張パーセント計算 ICC-350 %計算を除くICC-300の機能のほか, 開平, 二乗 和計算
付属品	ダストカバー ポリッシングクロス 取扱説明パネル (ICC-330, ICC-350)

○本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。